

# デジタルメディアシステム論

## *Digital Media Systems*

2 学期		水曜日		1・2 時限		講義室: 7A202	
担 当 教 員	阪口 哲男	研究室	312	オフィス	7-7	火曜日 4 時限目	
科 目 の 概 要	<p>情報のデジタル的取得、加工、蓄積、伝達、提示のための各種メディア技術とその統合方式について論ずる。まず、各種メディアのコンテンツに依存した特性について論じ、それを支える基盤技術およびそれに基づく標準規格の考察を行う。また、それら各種メディアを統合する方式とその技術動向を取り上げて、その特質について論ずる。</p> <p>技術に対する理解を具体的に深めることを目的とし、各種デジタルメディアデータの基本的な処理のプログラム例を取り上げる。プログラム例は Java 言語で記述されたものを用いる。また、単にデジタル化することによるメリットばかりでなく、そのデメリットも取り上げ、データ形式の選択における得失について論じたい。</p> <p>なお、授業に関する最新情報は以下の WWW ページを参照すること。 URL: <a href="http://www.sakalab.org/lectures/">http://www.sakalab.org/lectures/</a></p>						
授 業 予 定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本データ型としての数値、文字、文字列</li> <li>2. テキストのデジタル化とマークアップ言語の位置付け</li> <li>3. 音声のデジタル化とそのデータ処理例</li> <li>4. 静止画像のデジタル化とそのデータ処理例</li> <li>5. 複合メディアとしてのデジタル動画像</li> <li>6. データ圧縮技術の得失</li> <li>7. 各種メディアの統合技術</li> <li>8. セキュリティなど諸問題との関わり</li> <li>9. デジタルメディアのためのシステム技術と標準化の意義</li> </ol> <p>特に 1, 2 に重点を置く予定である。 (注: 受講者との意見交換を通じて適宜進行の順序や内容を調整する)</p>						
達 成 目 標	情報のデジタル的取得、加工、蓄積、伝達、提示のための各種メディア技術とその統合方式について理解を深めることにより、各自が進める研究等におけるデジタルメディアの位置付けやその取り扱いについて十分な考察を行えるようになることを目標とする。						
評 価 の 方 法	プレゼンテーション及びレポート						
教 科 書 又 は 参 考 書	教科書はなし 参考資料等は授業で紹介するほか、適宜配布する						
テレビ会議システムの利用	無						
そ の 他	Java 言語については各自が自習することを原則とする(授業内でも最低限の解説と、参考書などの紹介をする)。						